

Permanent Area
常設エリア



4F 5F 本棚劇場 Bookshelf Theater

約8メートルの巨大本棚に囲まれた図書空間。KADOKAWAの出版物のほか、角川源義、山本健吉、竹内理三、外間守善の個人文庫など約20,000冊が配架されています。本棚を舞台としたプロジェクションマッピングも上映され、ほかにはない劇場体験が味わえます。



1F

マンガ・ラノベ図書館 Manga & Light Novel Library

さまざまな出版社のライトノベル等が収蔵され、さらに児童書やコミックなど合わせて約40,000冊以上が集まる図書空間。日本が誇るジュブナイルやエンターテインメントの豊かな世界を体験できます。



4F 荒俣ワンダー秘宝館 ARAMATA Wunderkammer (Museum)

荒俣宏氏監修による、あらゆる「驚き」に立ち満ち溢れた驚異の部屋。ワンダーカンマの凝縮からアカデミックの極致まで、視覚と感覚で楽しめる多種多様な展示品が集結しています。



1F

源義庭園 Genyoshi Garden

「そら植物園」西島清順氏デザインによる、角川書店の創業者・角川源義の邸宅「青柿山房」からインスパイアされた庭園空間。源義が愛した泰山木や、秋の七草やしだれ桜を配し、季節により表情を変えていきます。



Planning Area
企画エリア

1F グランドギャラリー Grand Gallery

角川武蔵野ミュージアム最大規模の大きさを誇る企画展示空間。没入型デジタルアート展や、ユニークな切り口の現代アート展、体験型展覧会など、従来の展示方法や枠組みを超えた「新しい発見」を創出しています。

3F 3F展示室 3rd Floor Gallery

アニメや映画、ライトノベルなどのエンターテインメントから本格的な美術作品の展示まで、様々な展覧会を開催できる貸し施設。



4F

エディットアンドアートギャラリー EDIT & ART Gallery

短歌のアート展や、アナビエ×現代アート展など、もの／作品／言葉とが出会い「まぜまぜ」することで、新しい価値を生みだしていく新感覚のギャラリー。

5F 武蔵野ギャラリー Musashino Gallery

武蔵野に関することや、様々なカルチャーに関するものなど、角川武蔵野ミュージアムならではのユニークな展示が楽しめるギャラリー。

※掲載写真の展示は終了しています。最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。



5F

SACULA DINER サクラダイナー

角川武蔵野ミュージアムの5階に位置する“ミュージアムレストラン”です。“一皿の中に「物語」があるレストラン”をテーマとし、ここにしかない料理を提供いたします。



2F

KadoCafe 角カフェ

角川武蔵野ミュージアム2Fの出入りに位置し、美しい水盤を一望できるカフェスペース。地産品を活かしたスイーツやドリンクを愉しめます。



2F

Rock Museum Shop ロックミュージアムショップ

ミュージアムのオリジナルグッズや武蔵野で造られる様々な工芸品、お土産にピッタリの個性豊かなアイテムなどを豊富に取りそろえたグッズショップ。



4F エディットタウン-ブックストリート Edit Town - Book Street

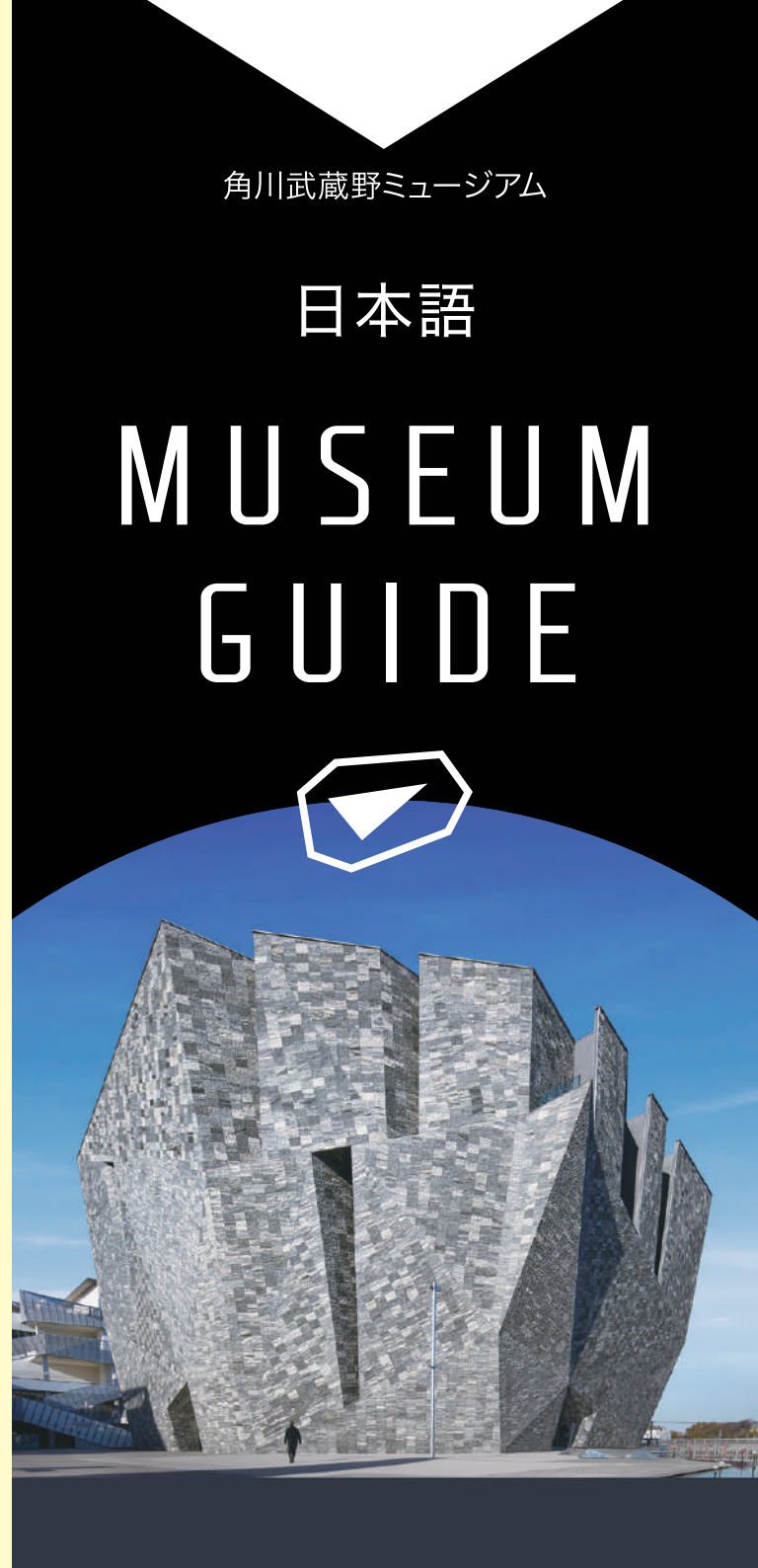
新しい本と出会い、新しい連想が生まれる「本の街」。松岡正剛氏が監修した世界を読み解くための9つの文脈によって、約25,000冊の本が選書され、隈研吾氏デザインの《違い棚》に配架されています。



※各エリアの解説などは、QRコードから映像でご覧いただけます。

4F 5F アティックステップ Attic Step

荒俣宏氏が蒐集した蔵書より、約3,000冊を自ら厳選し配架した屋根裏の階段空間。日本ではここしかないような貴重な本が多く並び、荒俣宏氏の頭の中を覗き込んだような体験ができます。



角川武蔵野ミュージアム

日本語

MUSEUM GUIDE





館長挨拶



角川武蔵野ミュージアムは不思議な空間です。図書館なのか美術館なのか博物館なのか。いや、そもそもこういう分類の仕方が通用しないのが、このミュージアムです。いわば「まぜまぜ」の複合文化施設です。この「まぜまぜ」が、新しい時代を創造することになるのだと思います。ハードとソフトの表現しようのない混淆に、あなたも魅了されるはず。このミュージアムは立ち止まりません。今後も進み続けます。一段と「まぜまぜ」が発展していきます。何度でも訪れたい施設。それを目指します。ご期待ください。

館長
池上 彰
Akira Ikegami

1950年8月、長野県松本市生まれ。1973年、慶應義塾大学経済学部を卒業、NHKに記者として入局。松江、呉での勤務を経て東京の報道局社会部。警視庁、気象庁、文部省、宮内庁などを担当。1994年から2005年まで「週刊子どもニュース」の“お父さん”。2005年にNHKを退社してフリーランスのジャーナリストに。現在、名城大学や東京科学大学、立教大学、愛知学院大学、信州大学など5つの大学で教える。



角川武蔵野ミュージアムとは

角川武蔵野ミュージアムは、図書館・美術館・博物館を“まぜまぜ”にした複合文化施設です。初代館長で編集工学者の松岡正剛氏、博物学者の荒俣宏氏、建築家の隈研吾氏、アートディレクターの神野真吾氏により、イメージーションを連想させ、リアルとバーチャルを行き来する革新的なミュージアムが誕生しました。

建築について

建築のデザイン監修は、日本を代表する建築家・隈研吾氏が手掛けました。デザインについて隈氏は「足元深くにある地層から、古代の火山積層物が地表に割り出してくるイメージを建築化した」と語っています。大地の力強さを表現するため、50×70cmに削り出した約20,000枚の石板で建物全体を覆っています。



建築デザイン監修
建築家
隈 研吾
Kengo Kuma

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。50を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。
©Designhouse

Kadokawa Culture Museum

5F 武蔵野ギャラリー
サクラダイナー



本棚劇場 / アディックステップ

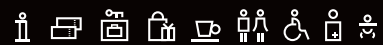
4F エディットタウン-ブックストリート
エディットアンドアートギャラリー
荒俣ワンダー秘宝館
ワークショップルーム
レクチャールーム



3F 展示室



2F 総合インフォメーション / チケットカウンター
ロックミュージアムショップ
角カフェ

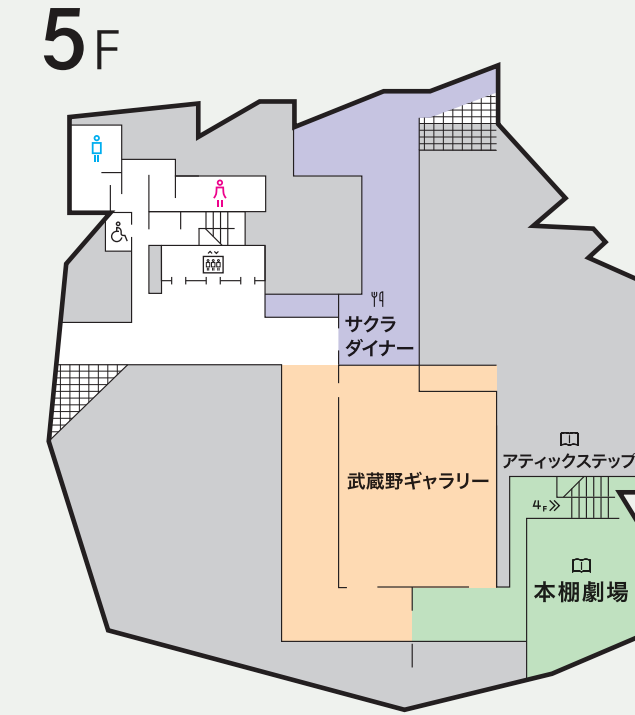
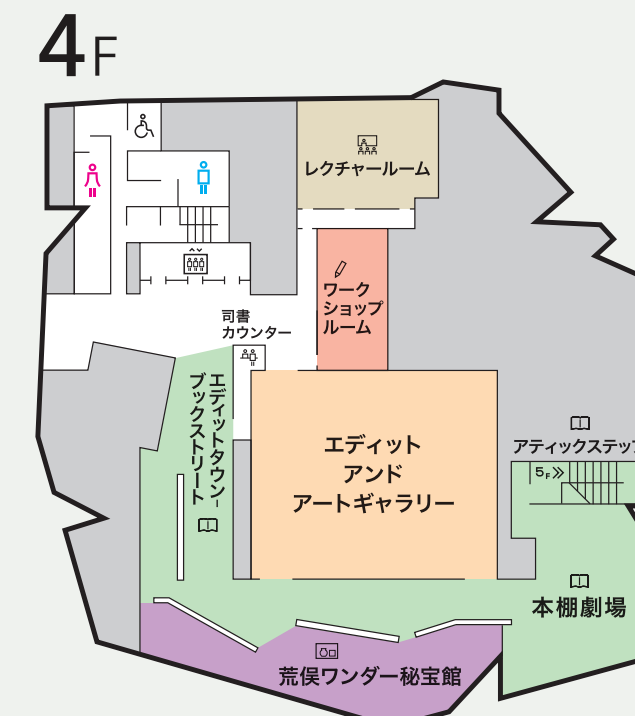
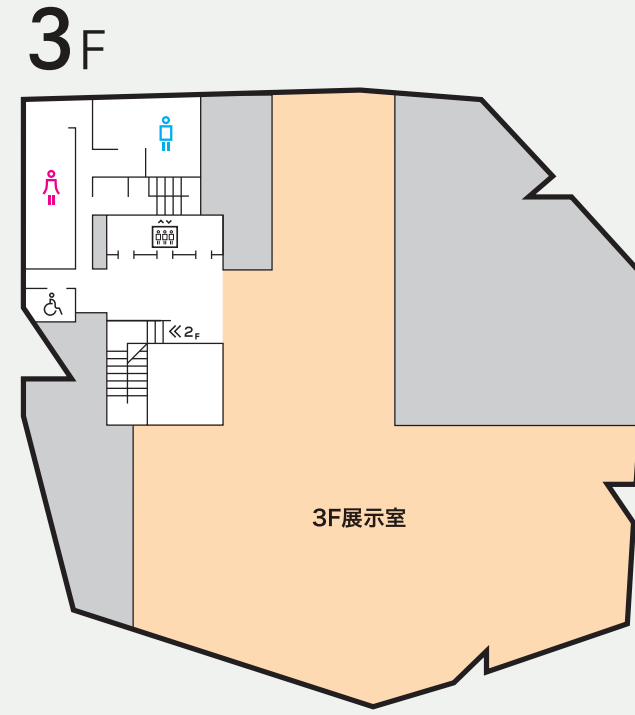
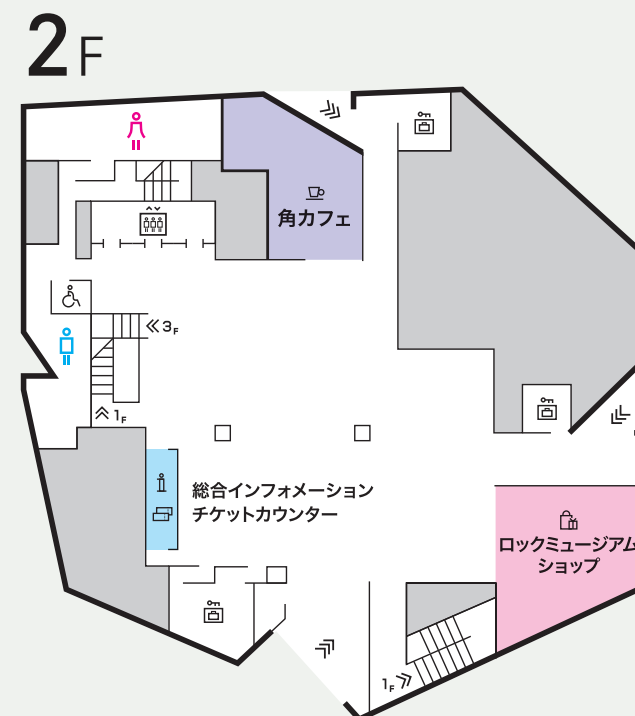
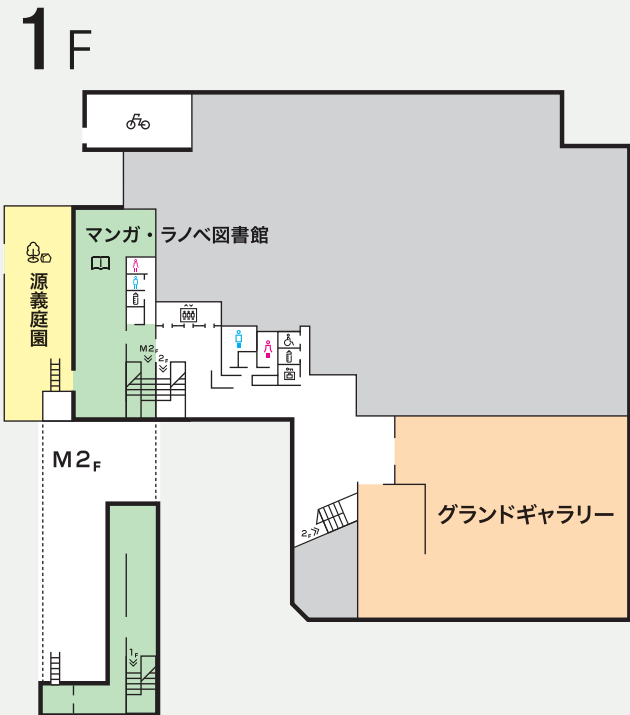


1F グランドギャラリー
マンガ・ラノベ図書館
源義庭園



サイン凡例

- トイレ
 - 多目的トイレ
 - 乳幼児用施設
 - オストメイト
 - 授乳室
 - 総合インフォメーション
 - チケットカウンター
 - ロッカー
 - レストラン (サクラダイナー)
 - カフェ (角カフェ)
 - ミュージアムショップ (ロックミュージアムショップ)
- ※オストメイト・乳幼児用施設は多目的トイレに設置しております



アクセス
公共交通機関でお越しのお客様 → JR武蔵野線「東所沢」駅から徒歩約10分
車で越しのお客様 → 関越自動車道「所沢」ICから約8分

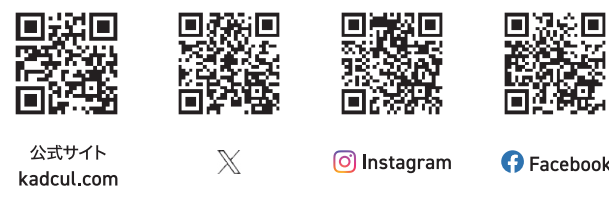
●駐車場について
【利用料金】
第1駐車場 30分200円 / 24時間最大800円
第2、第3駐車場 30分200円 / 24時間最大600円

角川武蔵野ミュージアム

開館時間 10:00 - 18:00 (最終入館は17:30まで)
休館日 毎週火曜日
※火曜日が祝日の場合は開館。
※営業日や営業時間は変更となる場合があります。
詳細は公式サイトをご確認ください。
※展覧会によって営業時間が異なる場合があります。

問い合わせ 0570-017-396 (受付時間: 10:00 - 18:00)
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田3-31-3 とろざわサクラタウン内

最新情報は公式サイト&SNSをCHECK!



とろざわサクラタウン
TOKOROZAWA SAKURA TOWN
公式サイト tokorozawa-sakuratown.com